

# 公益財団法人双葉電子記念財団 2022年度（第36期）事業報告書

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月 31日

## 1. 2022年度助成実績

当財団は、設立趣旨に基づき自然科学・技術の教育や研究の促進および産業振興の奨励に向けて、自然科学・技術の研究者等に対する学術・研究資金助成、顕彰、奨学金給付、青少年の創造性開発育成の四事業を推進した。以下、各事業の活動概況を報告する。

### 1) 自然科学研究助成事業

2022年度は、自然科学研究助成事業では応募80件（B区分75件、S区分5件）を審査し、理事会の承認を経て、43件（B区分：40件・S区分：3件）、総額 67,720,000円を支援した。

### 2) 奨学金給付事業

奨学金給付事業では、応募者33名（新規応募：27名、継続応募：6名）から13名（新規：8名、継続：5名）に対し理事会の承認を頂いたが、その後辞退者もあり、最終的には6名となった。これにより年間の支給総額実績は8,100,000円（計画：15,600,000円）となった。

### 3) 顕彰事業

本年度の審査対象は継続応募9名、新規応募4名の合計13名が審査対象となり、そこから理事会の承認を経て、広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 西原禎文博士、および、京都大学大学院工学研究科 教授 木本恒暢博士に衛藤細矢記念賞 総額 2,000,000円を贈呈した。

### 4) 青少年創造性開発育成事業

青少年創造性開発育成事業では、応募21件から、申請金額を減額要請したものを含み合計15件に対しての支援が理事会で承認され、総額 6,570,000円を支援した。

## 2. 2022年度贈呈式

新型コロナウイルス感染数が漸減傾向であったが、安全のため贈呈式のみ行うことにして、研究成果発表会、懇親会は中止、衛藤細矢記念賞受賞講演は財団ホームページから動画配信とした。各事業部門の受給者代表2名、顕彰事業部門の受賞者2名を招待、主催者側も4名出席とし、他受給者、評議員・役員・選考委員はリモート方式により参加するハイブリッド方式で行った。衛藤細矢記念賞受賞講演は、受賞者である広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 西原禎文博士、および京都大学大学院工学研究科 教授 木本恒暢博士に、事前に記念講演の動画を手配いただき、2022年7月6日から財団ホームページにて公開中である。また贈呈式（写真・動画）の様もホームページに掲載中である。

### 3. 2022年度選考委員会（分科会含む）活動について

2022年7月29日（金）に行われた総会において議案2件と各事業部門の応募要項を討議した。

- 1) 議案 第1号議案 選考副委員長の選定 ➡ 溝口文雄 ・ 岡野達雄  
第2号議案 分科会委員長の選任 ➡ 山本寛

#### 2) 2023年度に向けた四事業の規模

➡ 2023年予算規模（2022年度と同額）

研究助成	6,000万円（約40件程度）
青少年	1,000万円（15～20団体程度）
奨学金	2,000万円（中期的には16名程度）
顕彰	200万円（最大2件）

#### 3) 募集要項について

##### ・奨学金事業

地域の明確化

➡ 関東1都6県に・・・（詳細には、主たる大学キャンパス、研究室（常用研究施設）、または申請者本人が居住する住所の何れかが関東1都6県内にあれば条件を満たす）

留学生に対する条件の明確化

➡ 国費外国人留学生、外国政府派遣留学生は対象外

➡ 経産省からの外為法に基づく通達により、「安全保障上にかかわる機微技術流出上の問題は無いことを証明する」旨の記述が推薦書にあること

他との助成併用禁止の明確化

➡ 日本学術振興会（JSPS）特別研究員（DC）、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業採用学生、文部科学省卓越大学院プログラム（WISE）生、博士課程教育リーディングプログラム生、国際卓越大学院教育プログラム（WINGS）生その他の大学および国立研究開発法人の事業により支援を受けている学生、また、所属する企業・団体等から、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者は対象外とする。（当財団からの支援中に他からの採択に至った場合は、どちらかを辞退いただく）

##### ・研究助成事業

成果報告書未提出者対応

➡ 未提出が引き起こす事態の明示「成果物を提出期限までに提出せず、催告してもなお未提出が続く場合は、未提出者の氏名および所属機関名称と共に、成果発表会のポスター・財団年報等に「未提出」と表記し公開することになり、また、監督官庁である内閣府へ提出する財団事業報告書にもその旨が記載されます。合わせて、未提出の状態ですべて年度の助成申請をした場合は、その選考審査に影響する場合がありますので、予めご承知おきください。」

B-1、B-2の区別について

➡ 従前は金額の違いしか区別なく、募集区分が不明瞭だったので、再定義し明確化した。

#### 4) 事業の選考審査概況

2023年度に向けて4事業の募集を実施、それぞれの申請に対し選考委員会で候補者を決定した(内定者は全員2022年度第4回理事会で承認された)。以下、選考審査実施概要と結果を示す。

##### ・奨学金給付事業

募集開始 2022年 7月 1日(金)

募集締め切り 8月31日(水)

書類選考まとめ会議 9月29日(木)

➡応募者23名から合計14名(新規:12名 継続:2名)を選出(若林英紀氏から頂いたご寄付は、贈呈式時点での奨学生に分配することで予算は1,820万円とした)。

##### ・研究助成事業

募集開始 2022年 9月 1日(木)

募集締め切り 10月18日(火)

選考方法検討会議 10月28日(金)

書類選考まとめ会議 12月15日(木)

➡研究助成は69件の応募に対し、新規応募20件、継続応募7件、学会支援の2件の合計29件(B1区分:14件 B2区分:13件 S区分:2件)を選出、支援総額として4,094万円を予算化。

##### ・顕彰事業

募集開始 2022年10月 7日(金)

募集締め切り 11月29日(火)

書類選考中間まとめ会議 12月15日(木)

書類選考まとめ会議 2023年 1月12日(木)

➡合計7名の推薦候補を調査・審査し、東北大学多元物質科学研究所の教授百生敦(ももせあつし)博士を選出。

##### ・青少年創造性育成事業

募集開始 2023年 1月 5日(木)

募集締め切り 2月 9日(木)

書類選考まとめ会議 2月16日(木)

➡応募21件、申請総額1,295万円に対し、選考委員会として合計15件(申請額通りでの選出4件・減額した上で選出11件・不採択6件)、総額504万円を選出。

# 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度 (2022年度)	前年度 (2021年度)	増 減 (当年)-(前年)
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
普通預金	46,472,507	91,072,941	-44,600,434
流動資産合計	46,472,507	91,072,941	-44,600,434
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	90,000,000	90,000,000	0
投資有価証券(株式)	1,693,125,520	2,145,657,534	-452,532,014
基本財産合計	1,783,125,520	2,235,657,534	-452,532,014
(2) 特定資産			
定期預金	170,000,000	170,000,000	0
特定資産合計	170,000,000	170,000,000	0
(3) その他固定資産			
普通預金 (6号財産)	206,419,779	219,854,698	-13,434,919
その他固定資産合計	206,419,779	219,854,698	-13,434,919
固定資産合計	2,159,545,299	2,625,512,232	-465,966,933
資産合計	2,206,017,806	2,716,585,173	-510,567,367
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	2,159,545,299	2,625,512,232	-465,966,933
(うち基本財産への充当額)	(1,783,125,520)	(2,235,657,534)	-(452,532,014)
(うち特定資産への充当額)	(170,000,000)	(170,000,000)	(0)
(うち6号財産への充当額)	(206,419,779)	(219,854,698)	-(13,434,919)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	46,472,507	91,072,941	-44,600,434
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	2,206,017,806	2,716,585,173	-510,567,367
負債及び正味財産合計	2,206,017,806	2,716,585,173	-510,567,367

## 正味財産増減計算書（収支決算書）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 2022. 4. 1～2023. 3. 31	前年度 2021. 4. 1～2022. 3. 31	増 減 (当年)-(前年)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	68,459,039	91,249,328	△ 22,790,289
基本財産受取配当	68,458,146	91,247,528	△ 22,789,382
基本財産受取利息	893	1,800	△ 907
特定資産運用益	3,400	3,400	0
特定資産受取利息	3,400	3,400	0
その他固定資産振替額	14,434,919	23,018,698	△ 8,583,779
6号財産より充当	14,434,919	23,018,698	△ 8,583,779
流動資産運用益	2,727	2,604	123
受取利息(普通預金)	2,727	2,604	123
特定資産振替額	0	0	0
40周年記念事業積立金	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>82,900,085</b>	<b>114,274,030</b>	<b>△ 31,373,945</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>116,161,063</b>	<b>105,148,496</b>	<b>11,012,567</b>
支払助成金(研究助成事業)	73,498,700	60,028,422	13,470,278
支払助成金(奨学事業)	9,863,304	11,061,182	△ 1,197,878
支払助成金(青少年創育事業)	6,962,864	7,124,714	△ 161,850
支払助成金(顕彰事業費)	2,881,652	1,930,590	951,062
給料手当	15,301,075	16,178,301	△ 877,226
その他人件費(業務委託・慰労金等)	2,330,968	3,719,549	△ 1,388,581
福利厚生費	686,229	247,294	438,935
旅費交通費	41,889	52,374	△ 10,485
通信運搬費	350,430	465,965	△ 115,535
消耗品費	445,920	172,050	273,870
修繕費(保守リース)	1,654,406	1,654,118	288
印刷製本費	0	199,100	△ 199,100
光熱水料費	262,026	230,557	31,469
賃借料	1,881,600	2,084,280	△ 202,680
<b>管理費</b>	<b>11,509,038</b>	<b>10,800,885</b>	<b>708,153</b>
給料手当	3,825,269	4,044,575	△ 219,306
その他人件費(業務委託・慰労金等)	582,742	929,887	△ 347,145
福利厚生費	171,557	61,823	109,734
会議費	15,592	21,252	△ 5,660
役員報酬費	3,994,429	3,616,654	377,775
通信運搬費	87,608	116,491	△ 28,883
消耗品費	111,480	43,013	68,467
修繕費(保守リース)	413,602	413,530	72
印刷製本費	0	49,775	△ 49,775
光熱水料費	65,507	57,639	7,868
賃借料	470,400	521,070	△ 50,670
雑費	1,770,852	925,176	845,676
<b>経常費用計</b>	<b>127,670,101</b>	<b>115,949,381</b>	<b>11,720,720</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 44,770,016	△ 1,675,351	△ 43,094,665
当期経常増減額	△ 44,770,016	△ 1,675,351	△ 43,094,665
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	169,582	0	169,582
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	169,582	0	169,582
指定正味財産への振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 44,600,434	△ 1,675,351	△ 42,925,083
一般正味財産期首残高	91,072,941	92,748,292	△ 1,675,351
一般正味財産期末残高	46,472,507	91,072,941	△ 44,600,434
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
①基本財産受取配当			
基本財産受取配当	68,458,146	91,247,528	△ 22,789,382
②基本財産受取利息			
基本財産受取利息	893	1,800	△ 907
③特定資産受取利息			
特定資産受取利息	3,400	3,400	0
④受取寄付金			
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
⑤一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 82,897,358	△ 114,271,426	31,374,068
⑥投資有価証券評価損益			
前期末投資有価証券評価損益	0	0	0
当期末投資有価証券評価損益	△ 452,532,014	△ 1,015,755,312	563,223,298
当期指定正味財産増減額	△ 465,966,933	△ 1,038,774,010	572,807,077
指定正味財産期首残高	2,625,512,232	3,664,286,242	△ 1,038,774,010
指定正味財産期末残高	2,159,545,299	2,625,512,232	△ 465,966,933
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>2,206,017,806</b>	<b>2,716,585,173</b>	<b>△ 510,567,367</b>

# 財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	普通預金	千葉銀行茂原支店	運用資金として	43,941,905	
		三菱UFJ信託銀行千葉支店	運用資金として	2,530,602	
<b>流動資産合計</b>				<b>46,472,507</b>	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三菱UFJ信託銀行千葉支店	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。	90,000,000
		投資有価証券(株式)	双葉電子工業株式会社 3,255,626株	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。	1,692,925,520
			株式会社長生商店 400株	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。	200,000
	特定資産 (公益事業準備資金)	定期預金	千葉銀行茂原支店	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。	170,000,000
	その他固定資産 (公益事業保有資金) 6号財産	普通預金	千葉銀行茂原支店	公益目的事業の財源として使用する	206,419,779
<b>固定資産合計</b>				<b>2,159,545,299</b>	
<b>資産合計</b>				<b>2,206,017,806</b>	
(流動負債)				0	
<b>流動負債合計</b>				<b>0</b>	
(固定負債)				0	
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>	
<b>負債合計</b>				<b>0</b>	
<b>正味財産合計</b>				<b>2,206,017,806</b>	